

物語の説明役を果たすマザーグース

木田 裕美子

Mother Goose as a Subsidiary Character

KIDA, Yumiko

Abstract

Mother Goose is well-known as a collection of oral traditional rhymes, though the name of Mother Goose is said to come from “Contes de ma Mère L'Oye” by Charles Perrot, which suggests Mother Goose should contain classic fairy tales. And thanks to picture books and Disney movies, in English speaking countries everyone enjoys the same images in Mother Goose. Children sing songs as they play with their friends, while adults sing for their babies and children, and even among themselves they make use of a part of a rhyme, some lines or a whole rhyme as a means of delivering his or her idea to others. When adults hear a part of a rhyme or a character's name in Mother Goose, they instantly realize what the speaker implies.

This paper will illustrate the examples mainly in films how Mother Goose is used in communication.

Keywords: Mother Goose, oral tradition, communication

はじめに

他人に自分の考えを伝える時、同じ文化的背景、経験や境遇を共有する人たちの間では、意志の伝達は比較的簡単であろう。起きた事柄を時系列にそって説明するには、ニュースを読み上げるように言葉をつなげばよいかもしれない。が、それでも場所の特定や文化的事情が絡んでくると、同じ知識を共有している聞き手だと理解が早く、伝達も容易である。

英語文化圏では、人々の間で共有の知識と考えられているマザーグース、聖書、シェークスピアからの言葉が引用されることが多い。特に、マザーグースの唄は、人の誕生以前から、周囲の大人や年上の兄弟姉妹たちに歌ってもらい、まず、音やリズムの心地良さに親しみ、次に言葉の意味がわかるようになると、自分で歌い、年下の子供達に繰り返し歌われることで、その場の環境と共に記憶に刻まれ、意識下に潜んでいき、長じてふとした折に意識上に上ってくる。大人が子供の文化を共有しているのである。このマザーグースの人への浸透課程を、ピーター・ミルワード氏は「童話の国イギリス」で自分の体験を通じて語っている。

しかし、音声や文字からだけでは、聞き手や読み手が置かれている環境によって唄への印象が違ってくる。唄に対して人々が共通のイメージを抱くのに貢献したのは、絵本であろう。1744年頃にニューベリーが挿絵と教訓つきの本の形で出版すると、共通のイメージと固定化された言葉が流布した。

現在、大人がコミュニケーションに利用する唄には、1951年にオーピー夫妻が集大成したマザーグースに加え、殺人事件や歴史上の出来事を歌った民間伝承のものまで含まれている。

本稿では、オーピー夫妻の収録したマザーグースと大衆の間の共通知識となっている唄が、映画やドラマなどで狂言回しとして利用されていることを例証する。

マザーグースの用例

次に、利用された唄と、それらの唄が登場した映画の邦

題、原題、制作国、制作年度を、TVドラマはシーズンを邦題のあとに数字で記す。

- 1) Humpty Dumpty
 - ・「女検死医ジョーダン」6-2
 - ・「キャッスル」3-1
- 2) Oranges and Lemons
 - ・「NCIS ネービー犯罪捜査班」8-18
- 3) Lizzie Borden
 - ・「NCIS ネービー犯罪捜査班」8-18
 - ・「CSI: 科学捜査班」11-3
- 4) Ring-a-ring o' Roses
 - ・「NCIS ネービー犯罪捜査班」8-18
- 5) Eenie, Meenie, Minie Mo
 - ・「ミスターノーボディ」Mr. Nobody, 米、2009
 - ・「バーンノーティス元スパイの逆襲」5-3、
- 6) Twinkle, Twinkle, Little Star
 - ・「Law and Order クリミナルインテント」6-1
 - ・「Touch タッチ」1-6
- 7) Rock-a-by Baby on the Treetop
 - ・「Law and Order クリミナルインテント」6-2
- 8) This Little Pig Went to Market
 - ・「40 オトコの恋愛事情」Dan in Real Life, 2007 米
- 9) Little Tommy Tucker
 - ・「ザ・ファインダー 千里眼を持つ男」1-8

元となったマザーグース

次に、前項に登場した唄の元唄を簡単に紹介する。

- 1) Humpty Dumpty sat on a wall
Humpty Dumpty had a great fall
All the king's horses and all the king's men
Couldn't put Humpty Dumpty together again

ヨーロッパ各国に見られる「卵」が答えの謎々唄。塀の上に座っている卵の様子から、①危険な状態、②危険な状態や不安定な状態にいる人、塀から落ちてぐちゃぐちゃにつぶれてしまった情景から③元に復元不可能な人、物、

社会の体制などを表すようになった。また、Lewis Carroll の「鏡の国のアリス」に登場したため、④尊大な人物をさすようにもなった。多くの絵本作家は、ハンプティを卵の姿で描いているが、Kate Greenaway は、塀の上に座った男の子の姿で描いている。

2) Oranges and lemons

Say the bells of St. Clement's;
(略)

Here comes a candle to light you to bed,

And here comes a chopper

To chop off your head.

Chop, chop, chop, chop,

The last man's dead.

日本の「通りゃんせ」と似たゲームをしながら子ども達はこの唄を歌う。二人が向かいあい、両手を高く掲げて門を作り、残りの子ども達がその下をくぐる。最後の行と共に、「門」が閉じられ、子どもが捉えられる。

この唄が文字として記録されたのは、1745 年頃のこと。1666 年頃にはダンス音楽として存在していたとのことである。荷揚げ人は、テムズ川に到着した船からオレンジとレモンを揚げるために、教会の敷地を通過して河岸に行く時に通行料として five farthings を教会に支払っていたとされる。また、オレンジとレモンは罪人を指し、裁判から処刑されるまでの過程を歌った内容でもある。

3) Lizzie Borden took an axe

And gave her mother forty whacks.

And when she saw what she had done

She gave her father forty-one.

1892 年合衆国マサチューセッツ州フォール・リバーにおいて、斧で滅多打ちにされた姿のボーデン夫妻が自宅で発見された。その犯人とされたのは、娘のリジー。しかし、決め手となる証拠がなく、リジーは無罪放免された。斧の傷の数については、父親は 11 回、継母は 18 回、いやいや二人とも一打で殺害されたと諸説ある。

マザーグースには、イギリス生まれの唄が多いなか、この「唄」は、アメリカからイギリスに伝わった。内容が残酷なためか、オーピー夫妻はこの唄を収録していない。藤野紀男氏は、「グリム童話より怖いマザーグースって残酷」の中で、イギリスの犯罪史に残る切り裂きジャック連続殺人事件と並んで「アメリカ人が選ぶ犯罪史上のベスト・ワンはというと、“リジー・ボーデン両親殺害事件”に落ち着くのではないのでしょうか」と述べている。

マザーグースの唄が大人から子供に伝えられたように、大人が歌い始めたこの怖い唄は、子ども達の間で広められていったのであろう。殺人の凶器が斧である事件では、引き合いに出される唄である。

4) Ring-a-ring o' roses

A pocketful of posies

Tishoo, tishoo

We all fall down

ヨーロッパにペストが蔓延した状態を歌ったと考えられている。ペストの菌を吸い込まないように、鳥の嘴の形をしたマスクを顔につけ、その嘴や衣服の袖に薬草を詰めていた。この唄を歌いながら、子供たちは、手をつなぎ、輪になりぐるぐると回る。そして最終行と共に、地面に倒れる遊びである。Albert Jack は、ペストとこの唄には関連がなく、1961 年に James Leason が *The Plague and the Fire* で結びつけて以来、定説となったと述べ、この唄は、子供が集まると自然に手をつなぎ、輪になって遊ぶ様子を歌ったものだと考える。ミステリーに利用される時には、ペストと死と全員が倒れる動作と結びつけて考えられている。

5) Eenie, meenie, minie, mo

Catch a tiger by his toe,

If he hollers, let him go

Eenie, meenie, minie, mo

ゲームを始める時の「鬼」を決める唄。決断が難しい時、運を天に任せようとする時に、「イーニー、ミーニー」と口にしつつ、ゆっくりと対象物を指差して決定する。古くはドルイド教において、生贄を選出の儀式にも使われたとのことである。

6) Twinkle, twinkle, little star

How I wonder what you are!

Up above the world so high,

Like a diamond in the sky

作者不明の唄が多いマザーグースの中で、作者が判明している数少ない唄である。日本では、「きらきら星」の題名で知られている。上記は 5 連からなる唄の第 1 連目。作者は、Jane Taylor (1783-1824)

7) Rock-a-bye, baby, on the tree top,

When the wind blows the cradle will rock;

When the bough breaks the cradle will fall

Down will come baby, cradle, and all

木の枝に吊るされた揺り籠に眠る赤ちゃん。風が穏やかに吹いている時には安全な子守りとなる「大枝」も、一度、風が強くなると、揺り籠ごと赤ちゃんも落ちてしまう危険をはらんだ唄である。眠らない子を脅す子守唄として、又、木を社会全体とみなし、社会情勢の根底を覆す状態を示唆する唄としても利用される。

8) This little pig went to market

This little pig stayed at home,

This little pig had roast beef,

This little pig had none

And this little pig cried, Wee-wee-wee-wee-wee,

I can't find my way home.

指遊びの唄である。大人が子どもの足の指の一本一本にさわりながら歌い、最後に足の裏をくすぐる。

9) Little Tommy Tucker,

Sings for his supper:

What shall we give him?
 White bread and butter.
 How shall he cut it
 Without a knife?
 How will he be married
 Without a wife?

昔、各家の軒先で行事の際に唄を歌ってその日の食事を手にいれていた職業を歌ったもの。歌うとパンとバターを与えられるが、「ナイフなしではどのようにして切らせようか」と訴えることで、肉などのもつと身のあるものを要求している。

マザーグースの用例

前項で紹介したマザーグースを、映画や TV ドラマ制作者がドラマの中の登場人物にどのように語らせているのかを例証する。

Humpty Dumpty の唄の一部が利用された例である。

「女検死医ジョーダン」 6-2 「踏みにじられた命」

ボストンの検死局で働く医師のジョーダン、イギリス人のナイジェル、バグ等が局長の元で、ボストン市警を協力しつつ働いている。

ある日、女性の体がばらばらに飛び散った交通事故が発生。渋滞で車が動かせないことに苛立ちを見せる人々。その人達に、ウッディ刑事は、聞き込みをする。ところが、運転者達は、ウッディの質問に耳を傾けようとせず、家族などに携帯電話で実情を告げている。他人の窮状に関心を抱こうとしない人々の態度に憤りを感じたウッディは、遺体の回収にやってきたナイジェルとバグの会話を聞いて二人に怒りを向ける。N はナイジェル、B はバグ、W はウッディである。(二人は遺体を回収しながら)

N: Upper left thigh and knee. Left shoe. "All the king's horses"

B: All the king's men.

W: Nice, guys, real nice. According to fairy tales.

N: Actually nursery rhymes.

W: Humpty Dumpty. You've got joke? Put back together.

N: Put together?

W: All the king's men.

遺体は、死後、車 6 台に轢かれたことが分り、指紋から人物が特定できた。更に 2 人が殺害されるが、この 3 人には何のつながりも見出せなかった。が、最後に、偽札作りと関連があると判明。犯人は逮捕される。

ナイジェルが、ばらばらになった遺体を集める時に、口にした *all the king's horses* 続いてバグが口にして *all the king's men* には、権力のある人がどんな手段を講じても、元には戻せないだろうとの意味であるが、被害者に同情も関心も寄せない人々に怒り心頭に達していたウッディは、*all the king's men* と言い、どんな手段を使っても、元に戻せと念押しをする。

Humpty Dumpty がキャラクター名のまま登場したのは、

ミステリー作家が警察の捜査にコンサルタントとして参加している *Castle* のシーズン 3-1 「犯人はキャッスル? A Deadly Affair」である。

ミステリー作家のキャッスルは、ニューヨーク市長の口利きで作品のリサーチのため警察の捜査に関わることとなり、ベケット刑事が率いるチームと共に捜査に携わっている。

このエピソードの冒頭、ベケット刑事の部下の一人が生卵を机の上に立てようとするが、失敗。床の上に落としてしまう。それを見たベケットは、*Are you guys investigating Humpty Dumpty crime scene?* と尋ねる。この刑事は以前秋分の日にかッスルが生卵を立てたのを目撃し、この秋分の日にかッスルが生卵が立つと言う都市伝説を信じていた。そこに、遺体発見の通報。遺体はビルからまさかさまに落ち、ビルの入り口の天蓋を突き破っていた。その状況を見た二人の刑事は、「*Humpty Dumpty*」だとつぶやく。

卵の崩壊や被害者がビルから転落した状態から *Humpty Dumpty* を連想している場面である。

Oranges and Lemons, Lizzie Borden, Ring-a-ring o' Roses の 3 つの唄が続けて利用されたのは、「NCIS 8-18」 「自白 *Out of the Frying Pan*」である。

NCIS は、海軍軍人に起きた事件、主に殺人事件の調査に携わる集団である。特別捜査官ギブスを長とし、陽気なディノッゾ、コンピュータお宅のマッギー、イスラエル人でアメリカに帰化したジヴァ、ラボで証拠分析をするアビー、検死医のスコットランド人ダッキーが主要な登場人物である。

このエピソードでは交通巡視員が巡回中、ある家の前に停車していた車を調べている時に、たまたまその家の中を覗いた巡視員が血のついた斧の傍に横たわる死体を目にし、市警察に通報する場面から始まる。

その二週間後、NCIS の事務所に出勤したディノッゾ、ジヴァ、マッギーの 3 人の机に白い書類箱が置かれている。中には、市警察の書類が詰まっていた。交通巡視員に発見された遺体の身元は、退役海軍軍人ペイトン大佐。その大佐の息子が第一容疑者として逮捕されるが、市警察の調査では、証拠不十分のため、起訴を却下される。退役軍人の事件は取り扱わない NCIS だが、判事の友人だった局長が事件の調査を引継いだのである。被害者の息子ニックが NCIS の取調べ室に呼ばれ、ギブスとディノッゾの取調べを受ける。一方、検死医ダッキーは、二週間前に一度検死を受けている遺体の検死を始める。遺体の胸には、既に Y の字型に縫合の跡があり、その糸を切りながら、ダッキーがマザーグースの唄を口にする。D はダッキー、Z はジヴァ。

D: *Here comes a candle to light you to your bed*

Here comes a chopper to chop off your head

(遺体の胸の縫合糸をはさみで切りながら)

Chop, chop, chop, chop, The last man's dead.

ジヴァ登場。

D: Oh, Agent David, I take it Jesro. Is he otherwise occupied?
 Z: He will be for a while. I heard you talk to the dead body, but I didn't know you read poetry to them as well.
 D: They are playground rhymes.
 Z: And they had something to do with everything.
 D: *Lizzie Borden took her axe
 And whack her mother forty times
 And when she saw what she had done
 She whacked her father forty-one*
 Z: I only count seven whacks.
 D: Ah, yes, according to the colonel's report, they were the cause of death.
 Z: Crime of passion?
 D: Of rage. The multiple blows which deflected the face suggest the killer was rather familiar with the victim, with a little furious enormous crime of level.
 Z: Like a son? Angry with his father?
 D: Possibly. I had Agent MacGee make me a copy of transcript submitted interrogation. Perhaps they can give me some insight of the young man.
 Z: He is eighteen, looks twelve.
 D: Looks conceived anything.
 Z: Really. If you find something, call me, Ducky.

(ダッキー、死体に向きを変えて)

D: *Ring-a-ring o' roses
 Pocketful of posies
 A-tishoo! A-tishoo!
 We all fall down*

死体に話しかける癖のあるダッキーが、斧が凶器の殺人から処刑場での首切り、次に、実際に斧を使って両親を殺害したリジー・ボーデンを連想し、動機は怒りであろうと類推する。犯人は、被害者の別れた妻、ニックの母親だった。容疑者として逮捕された息子のニックは、隠しマイクを身につけ、母親と再会し母親の自白を録音した。このエピソードの原題、"Out of the Frying Pan"は、「悪い状態からより悪い状態になる」という意味である。ニックが父親を亡くし、その父親を殺害したのは母親、両親を無くしてしまうことを示唆したのかもしれない。

同じく、リジー・ボーデンの唄から犯人を割り出したミステリーは、「CSI 科学捜査班 11-8 ブラッドムーン 満月の夜」である。

CSI は、ラスベガス内外で起きる事件の分析を担当する科学捜査班。犯罪学の専門家、事件の捜査と現場に残された証拠品の分析に携わる 4 人の専門家と検死医のロビンソンと彼の助手が主な登場人物である。

スキー客やハイカーがやってくる公園に放置された斬殺死体。被害者の胴体は有刺鉄線に立て掛けられ、切断された頭頂部は支柱に串刺しにされていた。現場検証後に遺体は、支柱や有刺鉄線がついたまま解剖室に運ばれる。検死医のロ

ビンソンは、支柱から頭部を引き抜き調べる。

Dr. R: The post through the trachea, soft palate, going into the brain.

助手: Head or tail?

Dr. R: I'll take head. (頭頂部にメスを入れ、脳を取り出す)

助手は傷口を見て *Lizzie Borden got an ax*

Lizzie Borden gave her mother forty whacks

Dr. R: Contrary to the poem, Lizzie Borden gave her parents totally 29 whacks. In this case we will know the number of whacks and a sort of weapon....

このエピソードには、満月の夜に狼に変身する一団と、日光が苦手な吸血鬼の一団が登場する。被害者は、狼族の男性。狼族であることを隠して、吸血鬼族の女性を愛し、結婚寸前にまで至るが、彼が狼族であるとわかるとこの女性は、斧で婚約者を殺害する。

ここでも、殺人の凶器が斧と推定されると、アメリカ人の間では、リジー・ボーデンを連想することがわかる。

鬼決めの唄が、人選に利用されたのは映画「ミスター・ノーバディ」、テレビドラマ「バーンノーティス」と「ザ・ファインダー」。

「ミスター・ノーバディ」Mr. Nobody の舞台は人が永遠の生命を受けている 2092 年の世界。その中に、たった一人、死ぬことができる人物がおり the last mortal to die on earth と呼ばれ、ニュース種になっている。彼の名前は、1975 年生まれのリモ・ノーバディ。

2092 年の世界では、もうじき 118 歳の誕生日を迎えるリモが医者インタビューを受けている。リモ自身は 2009 年にいると信じ、自分は 34 歳だと言う。彼の記憶は混乱しており、医者は、催眠療法で彼の記憶をよみがえらせ、整理させようとする。記憶はるか昔リモの誕生前にまで遡る。その世界では多くの子供達が人間の世界に送り出されるのを待っている。そこにいる子供達は、世界中の全ての事、これから起こる事を知っているが、人間世界に送られる前に「忘却の天使」がやってきて、唇の上を軽く押さえる。すると、そこでの記憶は全て消えてしまう。しかし、「忘却の天使」はリモを見過ごしてしまった。リモは、生まれる前からの記憶を持ったまま生まれるのである。彼は、子供を望む何組かの夫婦の言葉を聞き、どの親を選ぶかを選択した事を覚えている。

In the end I chose them because the lady smells nice. And the man said, "Well, I'll tell you how we have met. It's meant to be. Have you ever heard of butterfly effect?"

Once upon a time there were a daddy and a mammy. Their name: Daddy and Mammy. They found a cute little baby and called it Cute Little Baby. The baby was born there on that day. Everything that seems to exist we can see it. I can see my mammy's eyes but I can't see my eyes. The little baby can see his hands but he cannot see himself. So does he really exist? Do I really exist? と子供のリモは自分の誕生について説明

する。父親となる人物が、母親と会うべくして会ったと言ったことや、天気予報士の父親が butterfly effect (小さな蝶がはばたくとどこかで嵐になる) と言ったことをよく覚えている。また、二モ自身が両親となる人物を選んだと思ひ、自分の誕生を必然と見なしているが、「自分の姿を自分で見られない。自分は本当に存在しているのか」と自問自答する哲学者でもある。

母親：シーツで顔を隠し、boo. (赤ちゃんの二モが笑う)

Eenie, meenie, minie, mo

Catch the baby by the toe

If he squeals, let him go

Eenie, meenie, minie, mo

My mother told me to pick the very best one

And so you are IT.

二モの両親は彼が9歳の時に、離婚する。両親のどちらかを選択しなければならなかった二モ。記憶の中では、父親と一緒に生活と母親との生活の二つの記憶が錯綜する。また、彼は、3人の女性との結婚生活をもそれぞれ順次思い出す。どの記憶が実際の体験なのかは不明のままである。

そして、遂に二モの死ぬ日がやってくる。ところが、息を引き取ると同時に時間はまた逆行し、映像が巻き戻される。二モには選択の余地がないようである。

この唄は、運を天に任せる時に口にされることが多いが、母親は、二モに向かって「どの子にしようかな」と口にした後、2行を加え、慎重に二モを選び、わが子とした喜びを二モに伝えている。一方、二モ・「誰でもない」の「選択」の人生は、私達普通の人に対する教訓でもあろう。

次の「イーニー、ミーニー」は、聞いている者に恐怖を与えながら無差別に選択する例である。

「バーン・ノーティス エスパイの逆襲 5-3

マインドゲーム (Mind Games) 」

CIA のエスパイ、マイケルは、何の予告もなく解雇された後、マイアミに居を移し、解雇された理由を探りながら、探偵業を営んでいる。ある日、弟夫婦が子供の誕生を機にマイアミに移住してきた。弟の友人ジェシカが亡夫の借金のためにギャングに命を脅かされていることを聞き、マイケルは解決に乗り出す。大物ギャング、ウォレスの手先になっているカーターが、借金の取り立て役。かなりあくどい手口や脅しで借金を取り立てている。マイケルは、このカーターを潜入捜査官だと嘘の証拠をでっちあげ、ウォレスに取り入る。マイケルの妻がカーターの家で「潜入捜査官である証拠品」を置いた後、その家で、ウォレス、カーター、マイケルの3人は遭遇する。マイケルとカーターに銃を向けるウォレス。どちらが嘘をついているかと、

W: A kettle insulting a pot. Find you are lying to me.

M: I'm trying to help you. Check everywhere.

W: *Eenie, meene, minie, mo, shoot a rat in a row* とつぶやきながら、銃口を向ける。A kettle insulting a pot 「どっちもどっちだ」と言う。どちらが嘘をついているものだとわからな

かったので「イーニー、ミーニー」とつぶやいたのである。

夜空に輝く星を歌った「きらきら星」が、狂気が憧れのどちらかを連想させるのに利用されたのは、「Law and Order クリミナルインテント 6-1」。

ニューヨーク市警が担当する刑事事件を取り扱ったテレビドラマ。このエピソードでは、宇宙船の乗員に選ばれたジェシカ・ハートが記者会見後に宿泊していたホテルでダイビングナイフを刺された死体で発見される。ダイビングが趣味の元婚約者が容疑者として浮かび上がる。ジェシカは同じ宇宙船に乗務することになっていたネルソン船長と関係を持っていた。一方、ジェシカの相談役で同じく宇宙飛行士のサンディ・デルガドが、ネルソン船長に思いを寄せていたことが判明し、容疑者として取調べを受ける。取調べ室では、サンディは、ネルソン船長が自分を愛していたと主張。取調べ室で一人になると、*How I wonder what you are, Up above the sky so high, Like a diamond* と歌う。外から彼女を観察していた取調べ官らは、心身喪失を装っているのかと疑問を抱く。彼女は、ただ偏執的にネルソン船長を慕っていたのである。

取調べを受けているような緊張した場面で唄を歌うこと自体が刑事達の目には異様に映ったが、サンディも宇宙飛行士であることから、ネルソンを壮大な宇宙に無数にある星の中の憧れの星とみなして歌ったのかもしれない。

TVドラマ「タッチ」では、「きらきら星」の第3連と第5連で歌われている「旅人への道標役」として利用された。

「Touch タッチ」1-6 過去の忘れ物 Lost and Found

9.11のアメリカ同時多発テロ事件で妻を亡くした元ジャーナリストのマーティン・ボーンは、自閉症の息子ジェイクと二人暮らし。ジェイクは誕生以来一言も言葉を発さないが、ある時、マーティンは彼が数字や記号で、世界中の人々の結びつきを知らせていることに気づく。他の登場人物は、ジェイクが通う施設のソーシャルワーカーのクレア、数字で意思を伝える人の存在に気づいているアーサーなど。

各エピソードの始めには、ジェイクの声で数字とそのエピソードとの関わりが伝えられる。このエピソードでは、北極星の位置を数字で表し、宇宙に数ある星の一つに過ぎない北極星が地上にいる人々にとって道案内役をしていると紹介する。

クレアの母は認知症気味のホームレス。子供を誤って保護し、連れ去ってしまう。母を捜している時に、クレアの子供の頃に母が道標として地面に描いた星を見つける。次は、クレアとマーティンの会話。Cはクレア、Mはマーティンである。

C: I remember. (地面に描かれた星を指差しながら) My mother drew this when I was a kid.

M: Why?

C: In case something should happen to her and I've got lost. *Twinkle, twinkle, little star.*

二人は、クレアの母を見つけ出し子供も無事に保護される。

子守唄が子守唄の目的のまま使われた例は、「Law and Order クリミナルインテント 6-2 愛していると言って True Love」に見られた。

エピソードの内容は、90 歳の大金持ちのホーランドと結婚したローレライ。夫は既に死亡し、一人息子のジャスティンは薬におぼれている。ローレライの妹ジョリーンは、20 年間不安定な精神状態の姉の世話をしてきた。ジャスティンが薬の誤用で亡くなったあと、失意に沈む姉を慰め、生まれたばかりの姪の世話をする。ローレライが殺され、屋上に逃げたジョリーンは、赤ん坊を腕にだいて、*Rock-a-by baby* の子守唄を歌う。今にも、屋上の柵を越えて赤ちゃん共々身を投げるような危ない雰囲気の中、捜査官達は言葉巧みにジョリーンに近づき、二人を安全に確保する。赤ちゃんを揺すり、危険な状態を示唆する唄の後半を知っている聴衆をはらはらさせる場面である。

This little pig went to market は、アガサ・クリスティの「五匹の子豚」にも登場するが、豚と言えば、「三匹の子豚」とこの唄を連想する例が「40 オトコの恋愛事情 *Dan in Real Life*」にあった。

地方の新聞に「*Dan in Real Life*」のコラムを書いているダンには、4 年前に妻に先立たれ、現在は、17 歳を頭に小学校 4 年生まで 3 人の娘と暮らしている。長女は自動車を運転したいが許してもらえず、次女はボーイフレンドとの仲を認めてもらえず、三女は自我が芽生えてきたが子供扱いされるなど、ダンと 3 人の間はギクシャクとしてきている。ある週末、一家は、一族の集まりのためロードアイランドにいるダンの両親を訪ねる。ダンと 3 人の娘の様子を見て、ダンの母親は彼に新聞を買ってくるようにと促す。港の傍の本屋でダンとマリーという女性と出会う。意気投合した二人はしばらくお茶を飲みながら語らう。一目で恋に落ちたダンには、帰り着くと皆にその旨を報告しようとした矢先、弟のミッチが婚約者だと紹介した人物が先ほど本屋で会った女性だとわかり、口を閉ざしてしまう。心配した母親は、兄弟達の幼馴染のルーシーと市場で会い、彼女を家に招待したと告げる。ルーシーが現れる前、家族のパーティで、ミッチがピアノを弾きながら、次のように歌う。彼らが知っている子供の頃のルーシーは、豚顔だった。

Draver. Her name is Lucy Pig Face. This girl is coming over here. She's on the way back here. She's coming to meet Danny. What's her name? Lucy Pig Face Draver. Lucy lives in a house of brick, not a straw or a stick. I'll be a big bad wolf.

ダンが続いて *This little pig went to market* を歌う。そこに、ルーシーが到着する。ルーシーの顔は「豚顔」ではなかった。彼女は、形成外科医として働いていて、最近恋人を事故で亡くして精神的に不安定になっていた。

紆余曲折を経て、ダンとマリーと結ばれ、傷心のミッチはルーシーと出かける。ミッチがルーシーを三匹の子豚に、自分を「悪い狼」だと喩える箇所、映画の製作者は、

ミッチとルーシーの新たな関係をはのめかしていたのであろう。

歌を歌いながら日銭を稼いだ職業の唄 *Little Tommy Tucker* は、「ザ・ファインダー 千里眼を持つ男 1-8 あの世からのカムバック *Life after Death*」に登場した。

イラク戦争で脳に傷を負い、「何でも探し出せる」特殊な能力を身につけたウォルター・シャーマンは、マイアミで元弁護士のレオと二人で *The End of the Earth* という酒場を営業する傍ら、「探しだす」仕事の依頼を受けている。

ある日、ウォルターが出席したレコード会社の経営者ビッグ・グレイドのパーティで、流された音楽が 19 歳で亡くなった J. ストライカーの新曲だった。ビッグ・グレイドは、著作権の侵害だと激怒し、ウォルターに音楽を流した DJ を探すように依頼する。

ウォルターは、調査を開始する。彼は、DJ が音楽を流した場所を特定するために、スピーカーなどの装置を酒場の庭に設置し、歌うことを生業とした *Little Tommy Tucker* の唄をラップ調で歌う。その結果、J. ストライカーが生きていると考える。その後、ウォルターはビッグ・グレイドの所で聞いた DJ の言葉を分析し、居場所を特定する。そうして突き止めた DJ と J. ストライカーの弟の協力もあり、J. ストライカーの死の真相を解明する。*Little Tommy Tucker* の唄の後、死んだはずの J. ストライカーが生きていると断言したのは、歌詞は J. ストライカーの弟が書いていたからである。この J. ストライカーの歌の中に、*Eenie, meenie, minie, mo* も挿入されていた。

民間伝承や Fairy Tales の効用は

大衆の間に伝わるマザーグースは、子供部屋の唄とも呼ばれ、子供時代と大いに関わっている。言葉の意味が分らない乳児期には、唄のリズムと温かい皮膚の接触を覚え、その後、繰り返し歌うことで、子供時代の思い出と共に意識下に留めていく。アメリカ人の Joan McConnell が、イタリア滞在中、寂しく感じたのは幼少時の記憶や体験を共有していなかったことであると、"Unimportant as 'childhood memories' may seem, they do reinforce mutual cultural and social experience. They often help spark a conversation between two people who, as adults, seem to have little in common" と *The Background of English* で述べている。マザーグースが、英語圏で、また、映画やテレビドラマのおかげで今や世界中の人々の共有財産となってきたことで、無垢なる子供の感覚でコミュニケーションをより和やかに円滑に進めることができるかもしれない。ただ、子供時代からの継続的な知識や体験の蓄積がない場合は、聞き手に徹する方が安全であろう。

参考文献

- 1) Iona and Peter Opie: *The Oxford Dictionary of Nursery Rhymes*, Oxford University Press, 1951.
- 2) ピーター・ミルワード: 「童話の国のイギリス」、中公新書、2001.

(2012 年 11 月 9 日 受理)